

No.	薬品名(会社)	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	ピバンセカプセル 20mg 30mg (塩野義)	リスデキサン フェタミンメシ ル酸塩	小児期における注意欠陥 /多動性障害 (AD/HD)	通常、小児にはリスデキサンフェタミンメシル酸 塩として30mgを1日1回朝経口投与する。症状に より、1日70mgを超えない範囲で適宜増減する が、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量とし て20mgを超えない範囲で行うこと。	20mg1錠 ¥663.70 30mg1錠 ¥735.40	院内 院外 患者 限定	深澤 (小児)
2	ムーベン配合内用液 (日本製薬=武田)	ナトリウム・ カリウム 配合剤液	大腸内視鏡検査及び 大腸手術時の前処置に おける腸管内容物の排除	本品1本(500mL)を水で4倍に希釈して全量約 2Lの希釈液とする。 通常、成人1回希釈液2~4Lを1時間あたり約1L の速度で経口投与する。ただし、排泄液が透明に なった時点で投与を終了し、4Lを超えての投与は 行わない。	500mL/1瓶 ¥560.80	院内 院外	小泉 (外科)
3	ハラヴェン静注1mg (エーザイ)	エリブリン メシル酸塩 注射液	手術不能又は再発乳癌、悪 性軟部腫瘍	通常、成人には、エリブリンメシル酸塩として、 1日1回1.4mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を2~5分間かけ て、週1回、静脈内投与する。これを2週連続で行 い、3週目は休薬する。これを1サイクルとして、 投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減 量する。	1mg/1瓶 ¥67,121	院内	小泉 (外科)
4	ジクトルテープ75mg (久光)	ジクロフェナ クナトリウム 貼付剤	各種がんにおける鎮痛	通常、成人に対し、1日1回、2枚(ジクロフェナ クナトリウムとして150mg)を胸部、腹部、上 腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1日(約 24時間)毎に貼り替える。なお、症状や状態によ り1日3枚(ジクロフェナクナトリウムとして 225mg)に増量できる。	1枚 ¥156.50	院内 院外	大石 (外科)
5	エンレスト錠 100mg 200mg (ノバルティス)	サクビトリル バルサルタン ナトリウム 水和物錠	慢性心不全 ただし、慢性心不全の標準 的な治療を受けている患者 に限る。	通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして 1回50mgを開始用量として1日2回経口投与す る。忍容性が認められる場合は、2~4週間の間隔 で段階的に1回200mgまで増量する。1回投与量 は50mg、100mg又は200mgとし、いずれの投 与量においても1日2回経口投与する。なお、忍容 性に応じて適宜減量する。	100mg ¥115.20 200mg ¥201.90	院内 院外	内藤 (内科)
6	ユリス錠 1mg 2mg (富士薬品=持田)	ドチヌラド	痛風、高尿酸血症	通常、成人にはドチヌラドとして1日0.5mgより 開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸 値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。 維持量は通常1日1回2mgで、患者の状態に応じ て適宜増減するが、最大投与量は1日1回4mgと する。	1mg ¥54.80 2mg ¥100.20	院内 院外	内藤 (内科)
7	リベルサス錠 3mg 7mg (ノボ=MSD)	セマグルチド (遺伝子組換 え)錠	2型糖尿病	通常、成人には、セマグルチド(遺伝子組換え) として1日1回7mgを維持用量とし経口投与す る。ただし、1日1回3mgから開始し、4週間以上 投与した後、1日1回7mgに増量する。なお、患 者の状態に応じて適宜増減するが、1日1回7mg を4週間以上投与しても効果不十分な場合には、1 日1回14mgに増量することができる。	3mg ¥143.20 7mg ¥334.20 14mg ¥501.30	院内 院外	内藤 (内科)
8	エムガルティ皮下注120mg オートインジェクター (リリー=第一三共)	ガルカネズマ ブ(遺伝子組 換え)	片頭痛発作の発症抑制	通常、成人にはガルカネズマブ(遺伝子組換え) として初回に240mgを皮下投与し、以降は1カ月 間隔で120mgを皮下投与する。	120mg1mL キット ¥45,165.00	院内	永尾 (脳外 科)
9	ドボベットフォーム (レオファーマ=協和キリン)	カルシポトリ オール水和 物ベタメタゾ ンジプロピオン 酸エステル	尋常性乾癬	通常、1日1回、患部に適量塗布する。	1g ¥221.30	院外	飯田 (皮膚 科)
10	メノエイドコンビパッチ (久光)	エストラジ オール・酢酸 ノルエチステ ロン貼付剤	更年期障害及び卵巣欠落症 状に伴う血管運動神経系症 状(Hot flush及び発汗)	通常、成人に対し、メノエイドコンビパッチ1枚 を3~4日ごとに1回(週2回)下腹部に貼付する	1枚¥ 385.10	院外	松本 (産婦 人科)
11	ミレーナ52mg (バイエル)	レボノルゲス トレルキット	避妊 過多月経 月経困難症	本剤1個を子宮腔内に装着する。	52mg/1個 ¥26,956	院内	松本 (産婦 人科)
12	アソルガ配合懸濁性点眼液 (ノバルティス)	プリンゾラミ ド・チモロー ルマレイン酸 塩液	緑内障、高眼圧症	1回1滴、1日2回点眼する	1mL ¥360.40	院外	清水 (眼科)

No.	薬品名(会社)	成分	効能	用法	薬価	院内 院外	申請者
1	コララン錠2.5mg、5mg (小野)	イバブラジン	洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全	1回2.5mgを1日2回食後経口投与から開始。必要に応じ、2週間以上の間隔で段階的に用量を増減。	2.5mg1錠 ¥82.90 5mg1錠 ¥145.40	2.5mg 院内 院外 5mg 院外	内藤 (内科)
2	リクシアナOD錠15mg (第一三共)	エドキサバン トシル酸塩水和物	経口FXa阻害剤	1日1回経口投与する。 体重60kg以下：30mg 体重60kg超：60mg	15mg1錠 ¥224.7	院内 院外	内藤 (内科)
3	フォシーガ錠10mg (アストラゼネカ=小野)	ダパグリフロ ジン	選択的SGLT2阻害剤1・2 型糖尿病 慢性心不全	糖尿病：5mgを1日1回経口投与する。 慢性心不全：10mgを1日1回経口投与する。	10mg1錠 ¥274.30	院内 院外	内藤 (内科)
4	メラトベル顆粒小児用0.2% (ノーベル)	メラトニン	小児期の神経発達症に伴う 入眠困難の改善	1日1回1mgを就寝前に経口投与。	0.2%1g ¥207.80	院外	深澤 (小児)
5	ノベルジン錠25mg (ノーベル)	酢酸亜鉛水和物	1.ウィルソン病(肝レンズ 核変性症) 2.低亜鉛血症	1.成人には、1回50mgを1日3回経口投与。6歳以上の小児には、1回25mgを1日3回経口投与。1歳以上6歳未満の小児には、1回25mgを1日2回経口投与。いずれの場合も、食前1時間以上又は食後2時間以上あけて投与すること。 2.1回25～50mgを開始用量とし1日2回経口投与。体重30kg未満の小児では、1回25mgを1日1回経口投与。いずれの場合も、食後に投与すること。	25mg1錠 ¥274.40	院外	深澤 (小児)
6	動注用アイエーコール 50mg(日本化薬)	シスプラチン	肝細胞癌	シスプラチン100mgあたり70mLの生理食塩液を加えて溶解し65mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を肝動脈内に挿入されたカテーテルから、1日1回肝動脈内に20～40分間で投与し、4～6週間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。	50mg1瓶 ¥33,652	院内 (用時)	藤田 (内科)
7	ケフレックスカプセル 250mg(共和薬品)	セファレキシン	セフェム系抗生物質	1回250mgを6時間ごとに経口投与。	250mg1CP ¥31.50	院内 院外	中村 (麻酔)
8	エクロックゲル5% (科研)	ソフピロニウム 臭化物	原発性腋窩多汗症	1日1回、適量を腋窩に塗布。	5%1g ¥243.70	院外	飯田 (皮膚)
9	アスペノンカプセル10 (バイエル)	アプリンジン 塩酸塩	頻脈性不整脈	1日40mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mgまで増量し、1日2～3回に分けて経口投与する。	10mg1CP ¥34.90	院内 院外	永尾 (脳外)
10	エネフリード輸液 550mL、1100mL (大塚工場=大塚製薬)	アミノ酸・糖・ 電解質・脂肪・ ビタミン	アミノ酸、電解質、カロリー、 脂肪酸、水溶性ビタミン及び水分の補給	1回550mLを末梢静脈内に点滴静注する。投与速度は、通常、成人550mL当たり120分を基準とする。最大投与量は1日2200mLまでとする。	550mL1キット ¥1,059 1100mL1キット ¥1,473	院内	小泉 (外科)
11	ジセレカ錠100mg、 200mg (ギリアド=エーザイ)	フィルゴチニ ブマレイン酸塩	既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)	200mgを1日1回経口投与。患者の状態に応じて100mgを1日1回投与できる。	100mg1錠 ¥2,550.90 200mg1錠 ¥4,972.80	院内 院外	大橋 (内科)
12	リンヴォック錠7.5mg、 15mg(アッヴィ)	アッヴィ	既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)	15mgを1日1回経口投与する。患者の状態に応じて7.5mgを1日1回投与することができる。	7.5mg1錠 ¥2,550.90 15mg1錠 ¥4,972.80	院内 院外	大橋 (内科)
13	アニュイティ100μg エリプタ30吸入用(GSK)	フルチカゾン フランカルボン酸エステル	気管支喘息	100μg1吸入を1日1回吸入投与。	30吸入1キット ¥1,715.30	白羽 専用	吉野 (白羽)
14	レボノルゲストレル錠 1.5mg「F」 (富士製薬工業)	レボノルゲストレル	緊急避妊	性交後72時間以内に1.5mgを1回経口投与。		白羽 専用	吉野 (白羽)
15	レグテクト錠333mg (日本新薬)	アカンプロ サートカルシウム	アルコール依存症患者における断酒維持の補助	1回666mgを1日3回食後に経口投与する。	333mg1錠 ¥46.00	白羽 専用	吉野 (白羽)
16	ベオーバ錠50mg (杏林=キッセイ)	ビベグロン	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	50mgを1日1回食後に経口投与。	50mg1錠 ¥177.10	院外	渡邊 (泌尿)
17	イオメロン300注20mL、 50mL (ブラッコ=エーザイ)	イオメプロール	非イオン性造影剤	添付文書参照	20mL1瓶 ¥1,528 50mL1瓶 ¥2,857	院内	鈴木 (画像)

No.	区分	薬品名	薬効分類	備考
1	内用	スチバーガ錠40mg	抗悪性腫瘍剤キナーゼ阻害剤	
2	内用	ソバルディ錠400mg	抗ウイルス剤	
3	内用	タクロリムス錠0.5mg「あゆみ」	免疫抑制剤	
4	内用	ツムラ十全大補湯エキス顆粒(医療用)	漢方製剤	
5	内用	ハーボニー配合錠	抗ウイルス剤	
6	内用	モニラック・シロップ65%	腸管機能改善・高アンモニア血症用剤	
7	内用	レベトールカプセル200mg	抗ウイルス剤	
8	内用	ロソーゼット配合錠HD	高コレステロール血症治療剤	
9	外用	アクトシン軟膏3%	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	
10	外用	アスタットクリーム1%	抗真菌剤	
11	注射	アナペイン注10mg/mL 10mL	長時間作用性局所麻酔剤	
12	注射	ビクトーザ皮下注18mg	ヒトGLP-1アナログ注射液	

切替えによる削除薬剤（別紙(4) (5) 薬事委員会からの後発品変更薬剤及びお知らせを参照して下さい。）

No.	区分	薬品名
1	内用	イグザレルト錠10mg
2	内用	テネリア錠20mg
3	内用	ファンギゾンシロップ
4	内用	ルネスタ錠2mg
5	注射	オキサリプラチン点滴静注50mg「ホスピーラ」
6	注射	オキサリプラチン点滴静注100mg「ホスピーラ」
7	注射	ファモチジン注射用20mg「サワイ」
8	注射	リツキサン点滴静注100mg
9	注射	リツキサン点滴静注500mg

※後発薬剤採用に伴う先発薬剤は院内在庫がなくなり次第、院内の入力は不可となります。  
 ※経過措置期限切れとなる薬剤は期限日まで使用できますが製造中止となる薬剤も含めて市場での流通が困難となった場合や院内在庫終了時は入力不可となる場合があります。

No.	先発薬品名	会社	薬価	後発薬品名	会社2	薬価3	薬効
1	リツキサン点滴静注100mg	全薬=中外	¥27,215.0	リツキシマブBS点滴静注100mg「KHK」	サンド=協和キリン	¥18,631.0	抗CD20モノクローナル抗体
2	リツキサン点滴静注500mg	全薬=中外	¥132,999.0	リツキシマブBS点滴静注500mg「KHK」	サンド=協和キリン	¥91,210.0	抗CD20モノクローナル抗体
3	ルネスタ錠2mg	エーザイ	¥72.5	エソピクロン錠2mg「物イ」	沢井	¥27.0	不眠症治療剤

先発薬品の院内在庫が終了次第後発薬品変更します。  
院外処方では先発薬品の選択は可能です。

切り替え薬品 (院内在庫終了次第切り替え、院外は切り替え後も使用可)

No.	切替え前	⇒	切替え後	備考
1)	イグザレルト錠10mg	⇒	イグザレルトOD錠10mg	剤型変更
2)	オキサリプラチン点滴静注液100mg/20mL「ホピ-ラ」	⇒	オキサリプラチン点滴静注液100mg/20mL「サド」	納入価が安価
3)	オキサリプラチン点滴静注液50mg/10mL「ホピ-ラ」	⇒	オキサリプラチン点滴静注液50mg/10mL「サド」	納入価が安価
4)	テネリア錠20mg	⇒	テネリアOD錠20mg	剤型変更
5)	ファモチジン注射用20mg「カ1」	⇒	ファモチジン注射液20mg「カ1」	販売中止のため
6)	ファンギゾンシロップ	⇒	ハリゾンシロップ	主要納入問屋の変更のため

その他

① 5年以上使用されなかった薬剤、および使用頻度が少ない薬剤（抗がん剤、インターフェロン製剤等）は患者限定でマスター登録をさせていただきます。

② アレルギー薬剤について

現在、薬剤によるアレルギーが出現時、患者にアレルギーカードを発行し、電子カルテにその薬剤をすべて登録していますが、アレルギーが疑われる薬剤もすべてワーニングメッセージボックスが表示されるように設定されているため、煩わしいと指摘があります。

このため、新たにアレルギーカード記載された薬剤の登録は、副作用のグレード2以上の場合とし、アレルギーカードの薬剤情報はすべて患者の掲示板に記載させていただきます。

③ 院外処方箋について

院外処方箋に検査値データを載せて発行する方向で準備しています。

今後、小笠薬剤師会の会長と富士通と一緒に詳細について議論する予定です。

この決定事項を後日、医局会で報告し、運用時期について検討させていただきます。